

全日本少年軟式野球県大会

郷ノ浦が初優勝

軟式野球の第39回全日
本少年県大会は7、8日、
島原市営球場などで行わ
れ、郷ノ浦が決勝で諫早
に1-0で競り勝ち、初
優勝を飾った。郷ノ浦は
全国切符を懸けた九州大
会(7月2、3日・長崎
市)の出場権を得た。
各地区代表の中学16チ
ームが出場。トーナメン
トで競った。
郷ノ浦は準決勝で島原
一・有明を延長九回タイ
ブレークの末に8-3で
退けて決勝へ進んだ。決
勝は両チームともに六回
まで二塁に進めない投手
戦。郷ノ浦は七回2死か
ら敵失と暴投で二進する
と、中上の中前適時打で



【決勝、郷ノ浦一諫早】1安打完封してバットでも決勝打を放った郷ノ浦の中上

1安打完封に決勝打 郷ノ浦・中上

○…郷ノ浦が決勝にふ
さわしい1-0の好ゲー
ムを制した。タイブレー
クにもつれた準決勝の約
30分後に始まり、1日1
00球の投球制限がある
中、投手二枚看板の1人、
中上が完封に決勝打と投
打で活躍。「マウンドが
投げやすくて調子も良か
った。大事な場面で打て
たことも良かった」と笑
みを浮かべた。

打っては七回2死二
塁、追い込まれた後の外
角低めの直球を逆らわず
に右中間へ適時打。投げ
てはツーシーム、カーブ、
スライダーを使い、七回
1死から三塁打を許すま
で1人の走者も出さな
かった。パーフェクトが途
切れて同点のピンチを招
いても「意識せず、完封
を考えた」。続く投ゴロ
に飛び出した三走を補殺

するなど冷静に切り抜け
た。
全国出場権は九州2
枠。3月の九州選抜大会
で頂点に立ったチームに
とって、この切符は譲れ
ない。「ピッチャーより
好き」と言う遊撃手も兼
ねる背番号6の右腕は
「大事なところでの声か
けや守備の堅さを磨いて
優勝を目指す」と意気込
んでいた。(石田慶介)

決勝点を奪った。中上は
投げて1安打で完封。
諫早は七回1死から宮崎
の右越え三塁打で同点機
をつくったが、後続が断
たれた。(石田慶介)
▽1回戦 諫早8-6波佐
見、時津6-1有川、土井首
BCI-OACク、福台3-1
1大村、広田1-0福島、郷
ノ浦7-0田平、島原一・有
明(棄権) 福江、難知5-0
西彼
▽準々決勝 諫早6-1時
津、福石0-0(抽選)土井
首BC、郷ノ浦9-1広田、
島原一・有明7-0難知
▽準決勝 諫早5-2福
石、郷ノ浦8-3島原一・有
明
▽決勝
郷ノ浦1-0諫早



初優勝した郷ノ浦



準優勝の諫早